

声であそぶよ! マイフレンドトーマスセット

THOMAS
& FRIENDS

監修：御苑学園幼児ルーム 主宰 仲田安津子先生

《発達にあわせた遊び方のヒント》

お子さまの発達にあわせて、遊び方いろいろ!

ステップ1 メガホンだけであそんで おはなしの世界と現実を行き来する

はじめはメガホンだけであそんでみましょう。

『キキー!』という機関車の音をきいて『あ、トーマス止まったみたい』『きょうはどこにいこうかな!』というトーマスの声をきいて、『どこにいくんだろうね?トーマス』といったように、おもちゃの音を、親子での会話のきっかけにしてみるのもいいでしょう。

おはなしの世界と現実を行き来するイメージ遊びがひろがりますね。

ステップ2 まだ上手に言葉をしゃべれない頃の連動遊び

おしゃべりができるようになるのは、『自分の感情を音声にする』のがはじまりです。

お子さんが『あー』『うー』など発した声に、おうちの方が『そうなの』『たのしいのね』などと反応することで、もっとおしゃべりしたくなって、言葉の発達に良い影響を与えられます。

マイフレンドトーマスは、はっきりした言葉でなくても、音に反応して動いたり、しゃべったりします。おうちの方が反応するだけでなく、マイフレンドトーマスの機能をつかって、おしゃべりを促す刺激の一つとして活用してみてもいいでしょう。

ステップ3 少し大きくなったら思い通りにコントロール!

大人のいうことをきかなくてはいけないシーンが多い子どもたちにとって、おもちゃで遊ぶことは、自分で物事を思い通りに動かせる貴重な機会です。

『トーマス出発!』『とまって!トーマス』と指令をだす遊びができるようになったら、自分が主体になってコントロールする体験ができますね。

遊びで自分が思い通りに動かす体験をすることは、将来の、自発的な行動力のベースをつくることにつながることでしょう。

ステップ4 もっと大きくなったらストーリー遊びが楽しくなる!

5歳くらいになると、駅にあわせてとまらせて『とうちゃーく!』『今日は荷物が重いなあ』など、トーマスのおはなしを自分で作り出すあそびが楽しくなります。

自分で考えることを学習するきっかけになりますね。